



Maple BEST

三年松組 伊藤 美桜

発行者
文京学院大学
女子中学校
南部 和彦

七月二十二日から八月一日までの十一日間、カナダでホームステイをしました。私たち二十五名は事前学習として、四月から週に一度英会話の授業を受け、出発直前にはカナダ大使館を訪問し、カナダについてさらに勉強をしました。他にもフェアウェルパーティーで披露するためのダンスを練習したり、班に分かれて日本文化紹介のための準備もしました。私たちの班は、英語でカルタを作り、日本のカルタ取りを体験していただくことにしました。

そのパーティーで、私は団長としてスピーチをすることになっていたので、そのための準備もしなければなりません。先輩からのアドバイスを受けて内容を考え、家族にも手伝ってもらい、英語の先生に添削をいただいてスピーチを完成させました。七月の期末試験が終了した後から出発まで夢中になって準備をし、気がついたら出発日になってしまいました。でもまだ「カナダへ行く」という実感はわきませんでした。

東京から約九時間飛行機に乗り、入国審査の時に初めて、きちんと英語を話しました。カナダでの生活が始まります。バスとフェリーを乗り継いで、ビクトリア湖へ。そして、セントマーガレットスクエアに到着。ホストファミリーとの対面式になりました。椅子に座ってホストファミリーと自分の名前が呼ばれるのを、ドキドキしながら待ちました。ファミリーと対面したら、写真撮影、みんなそれぞれの家庭へ分かれていきました。車の中から、見慣れない風景と英語ばかりで書かれている看板に、少しの不安とワクワクドキドキの期待感で、胸がいっぱいでした。夕食の後で、対面式の時にカナダでの先生から渡された宿題をするために、初めて、自分から話しかけました。二日目からの平日は、午前中は英語の授業を受け、午後から同世代のバディの人たちとアクティビティで過ごします。

ビクトリア市内を観光したり、ブッチャートガーデンに行ったりしました。ほかにも体育館でドッジボールをすることもありました。アクティビティのメニューは、毎日変わるので、様々な経験ができてとても楽しかったです。休日はファミリーと一緒に過ごします。私は、カヤックやボートに乗ったり、ショッピングに連れていかれました。家庭によって過ごし方は様々で、プールやキャンプに行った家庭もあったそうです。

あつという間に最終日が来てしまいました。フェアウェルパーティーで終了証明をいただき、私は日本で準備してきたお礼のスピーチをしました。私たちはお礼の気持ちを込めて、カナダの国歌を歌い、ダンスや日本文化を紹介し、お世話になったファミリーとバディの方々をおもてなしました。各家庭からの差し入れのお菓子やフルーツの味も忘れられない思い出です。

最終日は早起きをして、バス停に集合です。ホストファミリーに送ってもらい、ここで別れなければならぬので、悲しい気持ちをこらえながら、約十日間の感謝の気持ちを伝えました。

帰国後、家族と思い出話をしながら、夢中で過ごした十日間の体験が本当に貴重なものであったと改めて感じました。コミュニケーションをとることの大変さが最初に思われるものの、楽しさの方がより多く、強く記憶に残っています。そして、この出会いを自分の将来に活かし、大切にしていきたいです。



文京ジュニアSSH

妙高自然体験教室に参加して

二年桃組 神尾 茉依

八月八日から十一日の三泊四日で、新潟県にある国立妙高青少年自然の家へ行ってきました。

今回、私がこの研修旅行に参加したきっかけは、去年参加した友達に、「一緒に行こうよ。」と誘ってもらったことです。

一日目は、源流体験をしました。源流に向う時に人がひとり入れるぐらいのトンネルがありました。友達から、「トンネルの中に行ってみようよ。」と言われ私は、楽しそうだったので思わず、「うん。」と返事をしてしまいました。

水が流れているトンネルを上がつて行くと、冷たい水が服の中に入ってきました。とても寒かったです。普段は入れないような場所に入ることが出来たことは、とてもよい経験になりました。

二日目は、燕温泉でフィールドワークに参加しました。めつたに入ることが出来ない足湯に入ることができ、とても癒されました。源流の原点にあった滝の迫力、音はとてもすごかったです。

三日目、藤巻登山をしました。今回は、熊に遭遇しなかったのですが、係りの人は毎日森へ行き熊に遭遇しているそうで、熊の話がたくさんして頂きました。自然での熊の怖さがよく分かりました。

今回の研修では、自然に親しみ、地球について理解することが出来ました。引率してくださった先生方、ありがとうございました。



文京マーチングユースの合宿に参加して

一年菊組 勝海 葉月

私は、カラーガード部に入りました。そして、この夏に合宿に参加しました。この合宿は、私にとって初めてなことばかりでドキドキ感とたくさんのお話を学ぶことができる充実感があるものでした。その中で、特に印象に残ったことが二つありました。

一つめは、練習量の多さです。二日目と三日目は、いつもの部活よりも一日の練習量がとても長く大変でした。しかし、この長い練習を通して、練習量が多ければ、それだけ上手になれるんだということを実感しました。

二つめは、演技のタイミングを合わせるカウントを数えることの大切さです。一日目の夜のミーティングの時に上級生から「返事とカウントを数える声が小さい」と指摘されました。そこで、二日目、三日目に意識して直したところ、上級生から「返事とカウントを数える声が大きくなっていいよ」と言われました。その時は、とてもうれしかったです。

さらに、カウントをしつかり数えることで、学園祭で演技するファンファーレを一回でピシッと決めることができました。先輩にはめられてうれしかっただけでなく、そろえられたことでさらにうれしさが増し、カウントを数えることの大切さがよくわかりました。

そして、私が合宿へ行ってこれからの部活で実行したい、生かしたいことが二つあります。一つは、注意されたことを一回で直せるようにすること、もう一つは、自主練の時間を大切にすることです。

はじめての合宿でたいへんだったこともありましたが、いろいろなことを学ぶことができ、充実した合宿でした。

